健康友の会みみはら2020年５月会員数（世帯数）

会員数	37,683	（前月比）	＋ 13
郵　送	9,473	（前月比）	－ 42
手配り	27,878	（前月比）	＋ 25

協同基金到達額　2,499,751,000円（5/31現在）
［前月比 673,000減］
協同基金出資者数　19,511名（5/31現在）
いのちを守る助け合い募金額　35,004円（5/1～31）

とも friend

2020 7 No.442

発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部 30円

コロナ禍の中でも 健康づくり、まちづくりのとりくみを

6月から再開 健診を受けよう！

新型コロナの影響で休止していた人間ドック・健康診断を6月から再開しています。耳原総合病院では、日曜健診も実施しています。要望の多かった日曜日の胃カメラも始めました。

新型コロナウイルス感染に配慮し、安心して健康診断を受けていただけるよう、完全予約制とさせていただきます。

なお、耳原鳳クリニック（072―275―0801）、みみはらファミリークリニック（072―252―1507）、耳原高石診療所（072―265―8110）でも健診を再開しています。日時など、詳しくは、お電話で直接お問い合わせください。

総合病院の日曜健診

実施日
8月23日　バリウム　　8月30日　胃カメラ
9月13日　バリウム　　9月20日　胃カメラ
9月27日　バリウム

予約・お問合せ
耳原総合病院健診センター
0120―86―7250

エプロンのご協力ありがとうございました

防護エプロン・マスクづくりの呼びかけに、たくさんのご協力ありがとうございました。

マスクは供給の目処が立ちましたが、エプロンはまだまだ必要です。引き続きよろしくお願いいたします。

ご協力に感謝です

「特別定額給付金」の申請はお済みですか

申請相談会の様子

特別定額給付金 申請説明会を開催

やっと届いた一人10万円の「特別定額給付金」の申請書。一人も漏れることなく「特別定額給付金」の申請ができるように、友の家で申請説明会を開催しました。「振込口座の書き方を教えて」「書いたけど不安やから見て欲しい」など、少しは申請のお手伝いができたのでは。

「特別定額給付金」の申請は8月末までです。不安なことがあれば、友の会コロナ相談窓口（☎072―244―8061、月～金曜日の9時～17時）まで。

「とも」紙面縮小と支部のない地域の郵送休止のお知らせ

新型コロナ感染予防に伴う「とも」の編集・発行作業の省力化で、５月号から友の会支部のない地域の郵送休止、６月号より紙面の削減でご迷惑をおかけしています。

７月号はすべての会員の皆さんに「とも」をお届けし、あらためて現状を報告して、８月号より支部のない地域の郵送は、休止とさせていただきます。

なお、同仁会のホームページには、「とも」の紙面を掲載していますので、ご覧ください。また、郵送休止地域で「とも」の郵送を希望される方は、下記事務局までご連絡ください。

新型コロナ禍の厳しい状況の中ですが、友の会らしい発信に頑張ってまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

健康友の会みみはら事務局（☎072-244-8061）

大阪「都構想」・カジノ中止し

コロナ対策に集中を！

新型コロナウイルスの感染拡大が、暮らしや医療、介護・福祉の現場に大きな影響を及ぼし、第二波も心配されます。今、力を集中すべきは、「新型コロナ」対策です。

しかし、このような中で松井大阪市長は、今の大阪市を廃止して４つの特別区に再編する「都構想」の是非を問う再住民投票を、11月1日の実施を目指す考えを示しました。再住民投票で「都構想」が承認されれば、堺市にも大きく影響します。今、「都構想」に莫大な税金と労力を使っている場合ではありません。市民の暮らしを立て直して、コロナの第二波、第三波への備えに全力を注ぐ時です。

駅頭で訴え

2020年原水爆禁止世界大会はオンラインで開催

◇世界大会・広島デー大会　8月6日（木）10時～
◇世界大会・長崎デー大会　8月9日（日）10時～

ユーチューブでライブ配信されます。

聴診器

緑が濃くなり、汗ばむ季節となった。緊急事態宣言が解除され、3週間。人出は戻ってきたが、〝しばらく休業します〟の張り紙も目につくようになった。新型コロナ禍なのだろうか、胸が痛む▼診察室で聞く限り、アベノマスクが届いたという患者さんは2割くらいか？全くあてにされていないマスクに466億円は本当にどう使われているのか。持続化給付金も間に合わず、廃業する人々が続出するなか、経済産業省からの依託費769億円のうち154億円が、官邸と関係の深い電通やパソナに渡っていることも報道され始めた。この国は一体どうなっているのか？▼5月には、黒川検事長定年延長に反対するツイッターデモで、70万とも100万ともいわれる反対の声があがり、結局は辞任に追い込んだ。市民の声が集まれば、国の流れを変えることはできる。新型コロナによって政府の包装紙がはがれ始めている▼元NHK記者に聞いたところ、数十の反響があれば、番組作りには影響でるとのこと▼ツイッターでなくてもいい、普通に挨拶するように電話やファックス、メールで内閣府や政治家、メディアに意見をおくる、新しい習慣をつくろう。私も遅ればせながら、ツイッターを始めました。（緒方浩美）